

## 競技部門 作品応募チェックリスト（予選応募まで）

印刷して、応募時のチェック用に利用してください。

### 1. 募集要項の公開（4/2(月)）

#### チームの構成

プログラミングコンテストに応募して、一緒にプログラム開発を行ってくれるメンバーを集めます。プログラムの開発能力やマネージメント、リーダーシップなどを総合的に検討しましょう。

学生の重複登録は認められていません。競技部門の場合、予選通過後の登録者の変更を認めます。

#### チーム数の確認

競技部門では、各校1チームに制限されています。

#### 人数の制限

1チームの人数は2?3名です。

#### 指導教員の決定

チームの面倒をみってくれる指導教員を決め、お願いします。応募、開発の指導、本選時の引率などで大変お世話になります。

応募時点からの指導教員の変更はできません。

#### 担当事務員の決定

実行委員会からの連絡、宿舍手配などでお世話になります。

### 2. システム設計の検討

#### アイデアの創出

システムのアイデアはプロコンにおいて重要な要素です。十分に検討を重ね、アイデアを出し合いましょう。あいまいな点を残したままにしておくと、開発の段階で問題となることもあります。

#### 本選までの計画

プロコンは短期間でシステム開発を完了しないといけません。予選応募の段階から計画を立て、無理が生じないかよく検討します。技術的な検討項目も列挙しておきましょう。

#### 開発環境の準備

指導教員と相談して、開発に必要なもの（PC、ツール、部屋等）を確保しておきましょう。

### 3. オンライン登録 (5/24(木)?5/31(木))

#### 登録作業

オンライン登録の処理は学生でも可能ですが、必ず指導教員の確認を得て行うようにしてください。登録の確認は、登録学生と指導教員に通知されます。

- タイトルは 30 文字以内か
- 副題は -いろはに- の形になっているか
- 特殊文字が含まれていないか
- 高専名等が含まれていないか
- 登録完了の確認

登録画面、電子メールで登録が正常に完了したことを確認します。登録番号・パスワードを控えておきましょう。

### 4. 「応募内容」PDF ファイルの作成と応募 (5/24(木)?5/31(木))

「応募内容」PDF ファイル作成ガイドを参考にして、自分のシステムを PR してください。

- PDF ファイルはテンプレートから作成されたか
- 1 ページにおさまっているか
- 以下の内容が網羅されていますか
- No.1 タイトル
- No.2 開発期間・開発人数
- No.3 実現方法・開発環境など
- No.4 使用ソフト (既存のソフトを利用する場合)
- 文字が小さすぎないか

10 ポイント以上 (ノート PC で閲覧して問題がない程度) が目安です。

(14 ポイントから 10 ポイントに訂正しました。)

- 必要なフォントがすべて含まれているか
- ファイルは 1.44 MB 以内か
- AdobeReader8 で問題なく読めるか

作成した端末とは別の PC での確認をお勧めします

- ファイル内に学校名等が特定できるものが含まれていないか
- 写真、地名等も含む

- 知的所有権を侵害していないか

既存システムの転用はもちろん、画像等の流用も問題になる場合があります。

- 文書のプロパティに学校名等が含まれていないか
- オンライン登録ページからの登録
- 指導教員に確認をしてもらいましたか
- 登録完了の確認

自動応答により受領確認のメールが届きます。登録したファイルは一覧ページで確認できますので、正しく登録されているか確認してください。

## 5. 登録後にすべきこと

システム作成は設計の段階から始まっています。予選の結果を待って開発を始めるのではなく、技術的な検討や準備など、効率よく進めておくべきです。